

令和元年度 唐津市立打上小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
学ぶ力とかかわる力を持ち たくましく生きる子どもの育成	①学力向上「よく見る・よく聞く・よく考える」「けじめをつける 時・場所・場合」 ②豊かな心とコミュニケーション力の育成「よく見る・よく聞く・よく考える」 ③生活指導の徹底「けじめをつける 時・場所・場合」「あいさつ・返事・あとしまつ」「立腰による心の落ち着き」 ④保護者・地域等との連携を推進する。

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価				
① 学力向上「よく見る・よく聞く・よく考える」「けじめをつける 時・場所・場合」				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○教職員の資質向上	・授業研究の推進をしているか。 ・教育相談及び特別支援教育に関する知識と判断力を身に付けているか。	・全職員が研究授業を1回以上実施し、事前、事後の研究の充実を図る。 ・計画的な研修によって、教育相談の方法や就学支援のあり方を理解する。	・協力して研究授業の指導案の検討を行う。算数科の授業研究会を実施し、優れた指導方法の共有を図る。 ・事例研修やスクールカウンセラーによる講話を元に本校児童への対応等を協議する。
教育活動	●志を高める教育	自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	・自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える生徒を80％以上にする。 ・授業の振り返りを実施し「わかった」「自分でできた」と評価する児童80％以上にする。 ・授業改善に向け、全員授業公開をする。	・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。 ・学習形態「なかよし」を推進し、毎時間振り返らせることで、達成感を味わわせる。 ・授業の相互参観と、公開授業をする。
教育活動	●学力の向上	・学習意欲を向上させ、自分の考えを持たせる授業づくりができているか。 ・授業規律の徹底をしているか。 ・学年で身につけさせたい力と方策の共通理解できているか。	・「なかよし学習」(ひとりでタイム・ともだちタイム・みんなでタイム・もう一度ひとりでタイム)の充実を図る。 ・学習用具の準備・チャイムの合図で授業開始・授業終了時のふりかえり発言をさせる。 ・校内研での取り組みを生かした日々の授業展開の実践を図る。	・グループワーク(話し合い活動)の進め方を4つの型で示し司会が進め方のカードを参考に進行する。 ・研修会やチェックシート利用などで共通理解を図り、全学年授業の流れを徹底する。 ・唐津市の学力向上推進校として、全職員が研究授業を公開し、その授業研究会を通して、授業づくりのさらなる充実を目指す。
②豊かな心とコミュニケーション力の育成「よく見る・よく聞く・よく考える」				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●道徳の授業を中心とした心の教育	・温かい学校・学級づくりができているか。 ・学校や社会の決まりやマナーを守っているか。 ・人権・同和教育の推進を図っているか。	・道徳の授業の充実と支持的風土の学級経営により、人権意識や自己肯定感、規範意識の涵養をさせる。 ・人権集会や人権教育を通して自他を大切にし、お互いに認め合ったり、人権意識を高めたり共に高め合う児童の育成。	・道徳の授業の充実やQ－Uアンケートの効果的な活用等を通して、よりよい学校・学級づくりに努める。 ・講話や毎週の道徳の授業を通して、人権意識を高める。 ・年間指導計画をもとに授業の実践と、評価を進める。
教育活動	●いじめ問題への対応	・いじめの早期発見・早期対応に向けた体制作りができているか。	・いじめに対応するための組織や連絡体制、対応策を確立し、有効に活用する。	・毎月の「なかよしアンケート」で、いじめの早期発見・早期対応に努める。 ・日々の児童の様子をよく観察し、アンケートに表れていない面についても、気になることの早期発見・早期対応に努めるようにする。 ・毎月の生活指導協議会で対応の仕方を協議し、組織的な対応を行う。
教育活動	○特別活動による自主的実践的態度・仲間と自分を大切に する態度の育成	・宿泊体験、米作り体験などお世話になっている地域、保護者の方々に感謝することができるか。 ・自分にできることを見つけ、協力して活動できるか。	・体験活動・ボランティア活動をとおした、自分や周りの人々を大切に する態度を育成する。 ・「気づき⇒考え⇒実行する」「よく見る・よく聞く・よく考える」を合い言葉に、真剣に取り組む態度を育てる。	・事前指導の折にも感謝の気持ちを忘れず、謙虚な心で取り組むことを指導する。 ・活動の目当てを意識させ、活動の後には振り返りの場を設けて、頑張りや協力の視点で発表させたり、まとめさせたりする。
③生活指導の徹底「けじめをつける 時・場所・場合」「あいさつ・返事・あとしまつ」「立腰による心の落ち着き」				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○危機管理	・子どもの安全確保のための危機管理体制は整っているか。	・学校評価の保護者用アンケート項目「学校は安全対策ができているか」の達成率を95％以上にする。	・避難訓練の実施や安全指導を徹底する。危機管理上の課題を明確にするための訓練と位置づけ、危機管理マニュアルの実践化に取り組む。 ・様々な便りやはなまる連絡帳を通して、危機管理の意識をさらに高める。
教育活動	●健康・体づくり	・早寝、早起き、朝ご飯を推奨しているか。 ・体力向上を意識した取り組みができているか。 ・正しい姿勢で授業を受けることができているか。	・「早寝早起き朝ご飯」の達成率を90％以上にする。 ・学校評価の児童用アンケート項目「元気に外遊びや体力づくりができる」の達成率を90％以上にする。 ・立腰教育の推進を図る。	・保護者への啓発と、児童への声かけを頻繁に行う。 ・体育行事や体育の授業の中で、児童一人ひとりがめあてを持って体力向上に取り組むことができるようにする。また、外遊びを日常的に促す。 ・縄跳び月間や持久走月間などの全校的な取り組みを充実させる。 ・「立腰」を授業・集会の始めと終わりに実践させることで、落ち着いた心を育てる。
教育活動	○人間関係の基礎づくり	・あいさつ運動の推進しているか。	・学校評価の児童用アンケート項目「気持ちのよいあいさつができる」の達成率を90％以上にする。 ・あいさつレベルの向上をめざし、レベル5を目標にする。	・あいさつのできている子供を奨励し、全児童に広める。 ・あいさつの状況を生活指導協議会などで確認し指導する。
教育活動	○生活指導協議会を生かした指導生活規律の徹底	・きまりを守り、他者を大切にする気持ちの育成「ほかほか言葉」をしているか。 ・月別目標の徹底:「あいさつ・返事」「右側通行」「無言掃除」をしているか。	・当たり前のことが当たり前できるように全職員で指導を徹底する。 ・学校評価の児童用アンケート項目「きまりや月別目標を守ることができる」の達成率を90％以上にする。	・毎月の生活指導協議会や普段の職員室での会話等の中で、児童の生活態度について確認をし、全職員で指導の徹底を図る。 ・全職員の共通理解の元、指導の徹底をはかるとともに、職員が見本となって行動する。
④ 保護者・地域等との連携を推進する。				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	・校務等を連携し効率化を促進しているか。 ・規範意識を高めているか。	・学校運営を組織的に行之、業務の効率化と分散化を図ることによって、質の高い業務内容を目指し、なおかつ個人負担を軽減する。 ・明るい職員室作りを目指し、美化や環境を整える。	・企画委員会を中心として、行事、企画を精選し、学年や教科などが組織的に活動しやすい環境を作る。 ・明るい挨拶と、感謝の言葉が飛び交う職員室になるように働きかける。
学校運営	○保護者・地域との連携	・地域と共に取り組む学校づくりができているか。	・地域や保護者が積極的に参加できる教育活動を計画する。	・保護者や地域の方との協力体制を維持しながら、教育活動を進める。
学校運営	○4校連携の推進	・具体的な取り組みについて共通理解し、実践しているか。	・海青中校区4校の校長会・研究主任会を中心に、全職員で、9年間を見通した「目指す児童・生徒像」の育成に取り組む。	・学年に応じた家庭学習の時間の確保について、家庭との連携をより深めながら全学級で取り組む。 ・他校への授業参観の機会を作る。 ・各部の取り組みの具体化を図る。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目